

民俗芸能発表

●演目解説
懸田 弘訓 氏
 (大玉村文化財保護審議会委員長)

今回は南相馬市の鹿島下町の子ども手踊保存会の
 みなさんにも特別出演いただきます。



玉井三区太鼓台 (若桜会)

平成9年に同区住民の協力により、太鼓台が作られた。玉井二区の太鼓台とともに秋祭りに太鼓台を運行している。

神原田神社十二神楽 (大山小学校)

大山小学校4年生の児童が地域から学ぶ、総合的な学習の一環として、保存会の指導のもと十二神楽を実際に体験している。保存会の方々とふれあいを通して地域のよさを再確認し、十二神楽を受け継いでいこうと思いをふくらませている。



鹿島下町の子ども手踊 (下町子ども手踊保存会)

相馬地方の特徴的な芸能のひとつで、鹿島下町の子ども手踊は、文献によると江戸中期から行われている。また、現在も保存会が熱意をもって手踊の保存継承発展を行っている。

特別
 出演



日時

令和2年 **2/11** 火 午後1時から

会場

大玉村農村環境改善センター
 多目的ホール

第三回 大玉村民俗芸能大会



本揃田植え踊り (玉井小学校)

玉井小学校5年生の児童が次代の担い手として、保存会の方々のふるさとを思いう心にふれながら、ふるさとの昔、今、これからについて学びを深めている。



神原田神社十二神楽 (神原田神社十二神楽保存会)

今から約250年前から伝わる出雲流神楽で、郡山市熱海町高玉から伝来したものとも言われている。現在春と秋の例祭に五穀豊穡を祈願して奉納されている。【村指定無形民俗文化財】



本揃田植え踊り (本揃田植踊り保存会)

古くから本揃地区に伝わる民俗芸能で、稲作の過程を笛や太鼓、唄の離子にあわせて踊るもので、21種の演目があり、小正月に豊作祈願や厄払いに踊られていた。現在は毎年ふるさとホールにて踊られている。【村指定無形民俗文化財】



玉井二区太鼓台 (玉井二区若若連)

玉井二区の太鼓台は、明治38年日清戦争の戦勝祝いとして二本松若宮の太鼓台を新しくした際、玉井二区の玉応平次郎氏が二本松藩時代からの貴重な太鼓台を譲り受け、同区若連に呼びかけて曳いて来たといわれている。【村指定無形民俗文化財】

スケジュール

◆13時00分～

開会式

◆13時20分～15時45分

- ①玉井三区太鼓台 (若桜会)
- ②神原田神社十二神楽 (大山小学校)
- ③鹿島下町の子ども手踊 (下町子ども手踊保存会)【特別出演】
- ④本揃田植え踊り (玉井小学校)
- ⑤神原田神社十二神楽 (神原田神社十二神楽保存会)
- ⑥本揃田植え踊り (本揃田植踊り保存会)
- ⑦玉井二区太鼓台 (玉井二区若若連)

主 催 大玉村教育委員会・大玉村民俗芸能大会実行委員会
 共 催 大玉村・大玉村文化団体連絡協議会
 後 援 福島民報社・福島民友新聞社
 問い合わせ 大玉村教育委員会 生涯学習課 ☎ 0243-48-3139